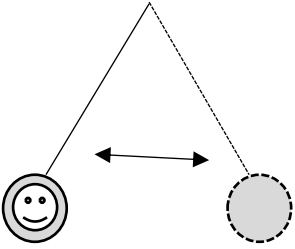



大項目	環境の把握 ④感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動
小項目	目と手の協応
タイトル (教材名)	振り子を打て！
目的 身につけてほしい力	動くものを目で追い、タイミングを合わせて身体を動かす力を養う。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>①  ② </p>
教材の使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを糸に吊るし、天井からぶら下げる。ボールを揺らす(①) ＜ステップ1＞ボールが戻ってきたときにボールにタッチする。 ＜ステップ2＞ボールが戻ってきたときにボールを打つ、掴む。 ＜ステップ3＞打ったボールが戻ってきたときに打ち返して、ラリーを続ける。 ＜ステップ4＞道具を使って打つ。②以外にも棒状の物やペン等、いろいろなものを使う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールに児童生徒の好きなイラストやクイズなどを貼って、児童生徒が自分からボールを目で追う教材を作ることも有効です。 ・ラリーでは、回数目標を設定することで、目をそらさずにボールを追い続ける集中力も身につきます。 ・慣れてくれば、ボールの大きさを小さくする、友だちと交互にボールを打つなど、ステップアップも有効です。 ・自立活動の他の項目との関連例 ＜環境の把握＞①保有する感覚の活用 ＜身体の動き＞⑤作業に必要な動作と円滑な遂行 ・参考文献「発達の気になる子の学校・家庭で楽しくできる感覚統合あそび」 ナツメ社 2015年